

営農トレンド

「営農」に関わるトレンドを
営農アドバイザーや担当者ご紹介

金融部門×営農部門が連携

農家組合員の農業資金ニーズに対応

JAは、農家組合員の皆さまの農業経営の発展と多岐にわたるニーズへの対応に向けて、金融部門と営農部門が連携し、農業融資体制の強化・深化に取り組んでいます。

皆様の夢の実現を
後押しします



金融部 金融推進課
しまいち さとし
島道 慧

■営農アドバイザーと金融担当職員が同行訪問

本店や各地区の金融担当職員が営農アドバイザーとチームを組み、農家組合員の皆さまの元へ一緒に訪問しています。部門を越えた連携と情報共有により、各担当が生産者の抱える経営課題や資金ニーズなどの解決策を考え、農業経営のアドバイザーや事業拡充の提案など迅速に対応します。金融・営農部門が連携するJAの総合事業の強みを発揮し、農業経営の安定・成長、農業所得の向上に資する金融サービスを提供し、生産者の夢の実現を後押ししています。

■農業関連融資の一例

JAならではの商品で農業に必要な資金をサポート。

●低金利で保証料相当額も全額助成

●JAアグリマイティー資金

- ・農業関連資金であればほとんどを網羅できる商品です。
- ・正組合員またはJAふじ伊豆を利用して購入した場合、基準金利から年0.15%を軽減します。
- ・さらに借入日から最長3年間は、最大1%の借入金利をJAバンク静岡が負担します。（100万円以上の借り入れの場合）

●手元に現金・貯金を残せる

●定期貯金担保貸付

- ・JAにお預け入れの定期貯金を担保に融資する商品です。担保提供の定期貯金額を上限とした借り入れが可能です。手元に現金・貯金を残せるメリットがあります。
- ・年間で支払った利息は、確定申告時に利子割引として費用計上できます。借入金利は担保提供の定期貯金の金利にプラス0.5%と低金利です。



金融部門の職員(右)と営農アドバイザー(中央)が同行訪問をして生産者(左)に農業融資を提案

TOPICS 1 農業融資体制を強化

■迅速な対応で農業経営をサポート

金融部門と営農部門の職員が一緒に話を伺うことで、今後の農業機械購入や修繕費用、運転資金など、農業関連の資金ニーズに対し、迅速に最適な低金利商品をご案内しています。

その他、農業経営の状況に応じ、農業融資のタイミングをアドバイスするなど計画的な経営をサポートします。現在抱えている課題など何でもご相談ください。早期解決に向け、最適な商品をご提案します。

イチゴ生産の課題解決に向けて 令和7年度の取り組み

JAの主品目の一つ、イチゴは10月にハウスへ苗を定植し、11月から出荷が始まります。今回はイチゴ生産における本年度の取り組みをご紹介します。

■JAふじ伊豆のイチゴ生産

当JAでは、主要産地の伊豆の国地区をはじめ、6地区でイチゴの生産・販売を行っています。生産者の安定生産と所得確保の実現に向けて、営農アドバイザーがほ場巡回などにより現場における課題解決に努めています。

さらに、販売担当が実需者と産地情報の密なやり取りや商談交渉により有利販売に取り組んでいます。相互に連携し、営農支援と販売の高位平準化を目指しています。



■担い手確保と高温対策

近年は、生産者の高齢化や離農による産地・担い手の減少、夏季高温条件下での苗づくりの難しさなどにより、「担い手確保」と「高温対策」が大きな課題となっています。

担い手確保に関しては、親元後継者や新規就農者(ニューファーマー)が産地の最前線で活躍しています。今後も各生産部会役員の協議の場である「いちごサミット」で新たな担い手の確保と産地維持について協議を進めていきます。

高温対策では、紙ポットの普及推進やビニールハウスの屋根に遮光剤散布(ドローン散布も含む)を進めています。

紙ポットは、ポットの表面から水分が蒸発する時に気化熱を奪うことで培地温度が下がり、苗の花芽分化が遅れにくく、根傷みしにくいなどの効果が期待できます。遮光剤散布は、ハウス内の昇温抑制により、高温ストレスを和らげ、ハウスの地

生産者の安定生産と
所得確保を目指します!



イチゴトップ営農指導員
営農販売部 営農課
いずさわ ひでのり
伊豆澤 秀憲

温を下げて定植後の苗の活着や根張り促進、障害果の回避、2番果房の花芽分化が遅れにくいなどの効果が期待できます。

さらに、暑熱対策効果が期待できるBS資材(肥料や農薬とは異なったメカニズムで植物の生育を促しストレスを緩和する資材)の試験導入も行っています。



ドローンによるハウス屋根への遮光剤散布



高温対策用のイチゴ苗紙ポット

TOPICS 2 イチゴ生産における取り組み